

## シンポジウム報告

### 平成 20 年度雪崩防災シンポジウムの報告

防災科学技術研究所 阿部 修

同シンポジウムが北秋田市（旧鷹巣町）文化会館で下記の通り開催され（図 1）、400 名近くの参加者があった。テーマは、“伝承と創造” 中山間地域の防災と雪国の暮らし、であった。秋田県北部の山間地は阿仁マタギの里として知られている豪雪地帯である。

雪崩災害防止功労者表彰では本会会員の伊藤驍および遠藤八十一両氏の他、特定非営利活動法人 ACT（Avalanche Control Team）が受賞された（図 2）。

特別講演では秋田県出身のクライマー小松由佳氏による「山に生かされて」があった。同氏は女性として世界ではじめて K2（標高 8611 m）への南南東支稜からの登頂を果たされている。また、基調講演では伊藤驍氏による「秋田の豪雪周期と雪崩災害」があり、長期変動と雪崩災害との関連についての研究成果が報告された。パネルディスカッションでは、秋田県の雪崩災害に対する取り組みが紹介された（図 3）。また、地元のパネリストの発言からは、中山間地域に暮らす人びとの豪



図 2 雪崩災害防止功労者の表彰

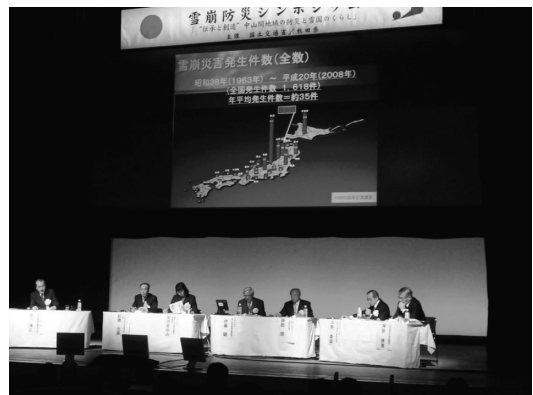


図 3 パネルディスカッション



図 1 開催会場の北秋田市文化会館

雪と対峙して生きるたくましさを感じられた。その中でマタギの松橋光雄氏の「ざらめ雪の上に乾いた雪が積もったときに雪崩が起きやすい」という言葉が印象に残った。

翌日は羽立地区における雪崩対策事業と阿仁のマタギ資料館の現地研修会があった。来年度は栃木県で開催される予定である。

期日：2009年1月29日（木）、30日（金）

場所：北秋田市文化会館

主催：国土交通省，秋田県

○1月29日13:00～17:00

開会

主催者挨拶 国土交通大臣  
(中野砂防部長代読)

開催県挨拶 秋田県知事  
(中山建設交通部長代読)

開催地挨拶 北秋田市長

雪崩災害防止功労者表彰

伊藤 驍 (国立秋田工専名誉教授)

遠藤八十一 (社団法人日本雪氷学会理事)

特定非営利活動法人 ACT

特別講演「山に生かされて」

小松由佳

(クライマー：秋田県県民栄誉賞受賞者)

基調講演「秋田の豪雪周期と雪崩災害」

伊藤 驍 (同上)

パネルディスカッション

コーディネーター

佐川博之 (秋田魁新報社編集局次長)

パネリスト

伊藤 驍 (同上)

菊地まゆみ

(藤里町社会福祉協議会事務局長)

松橋光雄 (北秋田市阿仁地区猟友会会長)

岸部 陸 (北秋田市市長)

コメンテーター

中野泰雄 (国土交通省河川局砂防部長)

神居勝康 (秋田県建設交通部河川砂防課長)

閉会

○1月30日

現地研修会

羽立地区雪崩対策事業 (北秋田市阿仁)

マタギ資料館 (同上)

(2009年3月19日受付)